

手稲山地区直轄地すべり対策事業 着手式を開催しました



国土交通省



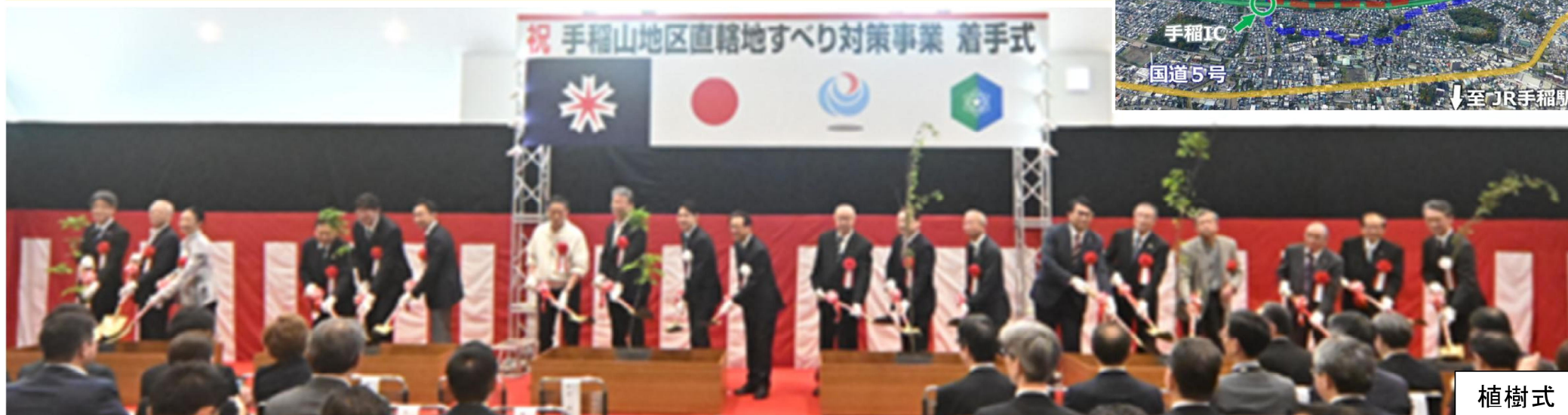
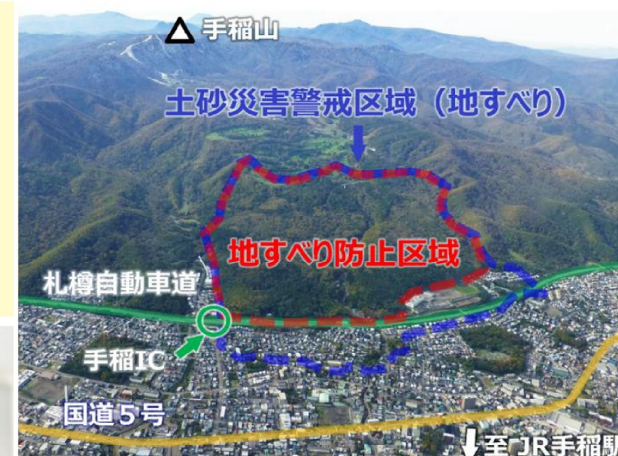
北海道

SAPPORO

○札幌市の手稲山地区では、大規模な地すべりが発生するおそれがあるため、令和8年度より北海道内で初めての国土交通大臣所管の直轄地すべり対策事業に着手します。これにあたり、令和8年6月27日(土)、北海道開発局・北海道・札幌市の主催により着手式を開催しました。

■ 着手式概要

日時：令和8年6月27日(土)14:00～14:45
場所：ハイランドスキーセンター(札幌市手稲区)
主催者：国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市
出席者：国会議員、道議会議員、市議会議員、学識経験者、町内会長の皆様他
(出席者合計83名)
次第：式辞、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、植樹式



植樹式



鈴木 直道 北海道知事

私たちが発した「地域の切実な声」を「形」にさせていただき感謝。引き続き、道民のみなさまの命と暮らしを最優先に、北海道の強靱化に取り組んで参る。



秋元 克広 札幌市長

直轄事業に着手いただき、地元としてこれほど心強いことはない。札幌市も、地域の皆様が、安全・安心な生活を送っていただけるよう取り組んで参る。



國友 優 砂防部長

「いのち・くらし・なりわい」を守るため、「事前防災」の観点で地すべり対策が必要。地域の皆様のご意見を伺いながら、進めて参る。